

令和元年第2回定例会一般質問順序表

6月25日～26日

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
1	6	北 市 勲	1 所信表明について	1 市民アンケートについて	1 市民アンケートの実施方法等や、集約後の結果利用について考えを伺う。	
				2 事業の決定過程の透明化について	1 事業が決定される過程で事前に内容・見積りなどの情報を提供し、市民とともに事業の進め方を決めていくとのことだが、具体的に伺う。	
				3 炭鉄港の日本遺産認定について	1 炭鉄港の日本遺産認定について、市長の感想と今後の取り組みの内容について伺う。	
				4 交通対策について	1 交通弱者（高齢者、運転免許証返納者等）に対する地域交通の考えを伺う。 2 JR北海道・根室本線（滝川～富良野間）の負担同意について伺う。	
				5 人口減少対策について	1 人口減少を抑えるためには、市外転出者を減らすことも大切と考えるが、市職員の市外居住者への対応について考えを伺う。	
				6 地域医療について	1 市立病院の医師及び医療従事者の確保について、どのように考えているか伺う。 2 平岸病院との連携についての考えを伺う。	
				7 観光政策について	1 エルム高原の集客策として、効果的なソフト事業を実施することだが、ソフト事業について具体的な内容について伺う。 2 AKABIRAベースの更なる農産物の充実や情報発信コーナーの強化とはどのようなものか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
1	6	北市 勲	2 教育行政執行方針について	1 学校における働き方改革について	1 赤平市の基本方針に基づき、実効性のある取り組みとは具体的に何か伺う。	
				2 小中一貫教育について	1 小中一貫教育導入に向けた環境を整える点があるが、導入した場合のメリット・デメリットは何か伺う。	
2	8	伊藤 新一	1 所信表明について	1 市民との対話を交えた政策決定プロセスの確立について	1 市民アンケートの実施について、市全般にわたる住民の意向を把握し、検証をした上で、各政策に結びつけて参りたいとのことだが、どのくらいの規模で実施したいと考えているのか伺う。	
				2 若者が安心して子どもを 生み育てられる地域づくり について	1 児童福祉施設の充実について、平成30年度実施のアンケート調査の結果や施設の必要性についても、分析を行った上で、子ども・子育て会議などで協議し、第2期子ども・子育て支援計画や平成30年度12月に策定した児童福祉施設整備計画にも反映させていくとのことだが、その中の認定こども園についてはどのように考えているのか伺う。	
				3 恵まれた自然環境と地域 資源を活かした個性と魅力 あるまちづくりについて	1 炭鉄港が日本遺産に認定されたが、各管内の振興局と13市町、関係団体で構成する炭鉄港推進協議会との取り組み方についてどのように考えているのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考	
2	8	伊藤 新一			2 AKABIRAベースについて、特産品推進協議会が主体となり、観光情報発信基地として運営されているとあるが、更なる農作物の充実、情報発信コーナーの強化を行っていくとのことだが、今後の運営で新たな取り組みなどについて考えがあるのか伺う。		
				4 すこやかで安心して暮らせる社会をつくりましょうについて	1 10月より実施予定の幼児教育の無償化による影響に対処するため、保育需要を注視しながら、保育所に待機児童が生じることのないように保育士の確保に努めて参りますとのことだが、保育士の確保について具体的に考えていることがあるのか伺う。		
				5 ゆとりと潤いのある快適な生活を支えましょうについて	1 高齢者社会に対応した地域公共交通のあり方について、現状を把握した上で、対策を検討していくとのことだが、当市においても高齢化が益々進んでいく中で、早めの対応が必要だと思いが考えを伺う。		
				2 教育行政執行方針について	1 安心安全な学びを支える多様な教育支援の充実について	1 登下校時の通学路における交通安全、不審者対策について、どのような対応を行うのか考えを伺う。	
				2 学び合いで地域力を育む社会教育の推進について	1 パークゴルフ場の移転先の協議について、具体的な考えがあれば伺う。		

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	5	五十嵐美知	1 所信表明について	1 市長の公約について	<p>1 赤平版世論調査となる市民アンケートの実施について、テーマごとに随時行っていくとされているが、市民にとって調査の方法や内容は負担にならないのか、特に高齢者等への配慮あるものになっているのか伺う。</p> <p>2 事業の決定過程の透明化について、公共事業の進め方を市民とともに考えていくと示されているが、その手法と規模について伺う。</p>	
				2 第6次赤平市総合計画の策定について	1 令和2年度から10年間の赤平市としての最上位計画を、まずは市民アンケートを実施して、現状を把握した上で、計画に反映されるようだが、期間の短い中で十分な意見集約が可能なのかを伺う。	
				3 地方版総合戦略について	1 人口減少対策に特化しポイントを絞った上で、具体的な事業の実施を盛り込んだ総合戦略を策定していくとされているが、人口減少対策は子育て支援が要と思うが考えを伺う。	
			2 教育行政執行方針について	1 新学習指導要領について	1 「よりよい学校教育がよりよい社会を創る」という理念のもと、3つの柱を掲げられ、現在各学校で円滑な移行に向けて、学習内容の移行措置や「どのように学ぶか」についての授業改善が進行中とされているが、現状と課題について伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	5	五十嵐美知		2 学力向上について	1 子どもが基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができるよう、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習など、子どもの実情に応じた指導のほか、校内研修の成果を生かした授業改善を柱に取り組んでいるとされているが、その現状と課題も含め伺う。	
				3 特別支援教育について	1 効果的に推進するための幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携による個別の教育支援計画の推進状況と課題も含め伺う。 2 保護者への育児・発達相談を担う保健分野、障がいのある子どもへの療育や専門的な指導を担う福祉分野などとの連携の具体的な取り組みと課題も含め伺う。 3 通級指導教室の現状と今後の効果的な運営の工夫をどのように考えていくのか伺う。	
				4 幼稚園教育について	1 昨年度に幼稚園教育要領が改訂された北海道教育委員会において、幼児教育の共通化を図るため、北海道幼児教育振興基本方針が策定されるとともに、本市において認定子ども園への移行を控えるなど、大きな転換期となっているとされているが、認定子ども園への移行は、質の高い教育を目指す上から喫緊の課題と思うが考えを伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
3	5	五十嵐美知		5 移動図書館について	1 令和元年度から東公民館を平岸コミュニティセンターへ変更して、茂尻小学校を継続し、新たに文京生活館，豊里小学校，赤間小学校を会場に行っていくとされているが，今後も読書に対する関心を高める更なる取り組みをしていくのか考えを伺う。	
				6 文化財保護について	1 赤平市の炭鉱遺産を構成文化財とする「炭鉄港」が文化庁の日本遺産に認定され，遺産の価値の証をより一層明確にするため，国の登録有形文化財指定を目指すと言われていますが，歴史の価値観も含め，その見通しについて伺う。	
4	3	木村 恵	1 所信表明について	1 市長公約について	<p>1 市民アンケートの実施については，市全般にわたる住民の意向を把握するアンケートという点は理解するが，テーマを絞ったアンケートとは具体的にどういう事か伺う。</p> <p>2 事業の決定過程の透明化について，行政内部において専門的見地から検討を行うプロセスも必要だが，必要性，住民負担，長期的展望，代替案などを積極的に市民へ提供したいと言及されている。庁議や協議会，検討委員会の内容をすべて公表していくという事か伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵		2 政治理念について	1 これからの4年間、市政の先頭に立つこととなり、市民の期待に応え努力していくと述べている。政策とは、空想や理念によって生まれるものではないから実態把握していくとの公約2点はもっともだが、それ以外で市民の方々は市長に何を期待していると考えているのか伺う。	
				3 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略について	1 地元産業の強みを活かした雇用確保と地域産業の振興について、総合戦略の最終年で、継続するものや改善されるもの、今年度新たに着手するものがある。人口減少対策における地元企業振興と雇用確保について、どこに重点を置いて進めるべきと考えているのか伺う。 2 若者が安心して子どもを産み育てられる地域づくりについて、施策が18ある中で子育て支援住宅の充実と、児童福祉施設の充実にしか触れられていない。K P I（重要業績評価指数）が達成されたものとそうでないものがあるが、継続するかしないかもアンケート結果に依拠するという事になるのか伺う。 3 高齢者が生きがいを持って安心して生活できるプラチナ社会の形成について、高齢化社会において地域医療の確保はもちろん最重要課題の一つだという事は理解できる。高齢者の転出対策、介護予防など健康寿命の延伸についての考えを伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵			<p>4 恵まれた自然環境と地域資源を活かした個性と魅力あるまちづくりについて、</p> <p>(1) 炭鉄港推進協議会と連携し取り組んでいくとある。炭鉱遺産公園構想についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) AKABIRAベースは、まちなかの商店街への流入人口の増大につなげるよう、更なる強化をしていくとある。現在はまだそれほど効果が出ていないという認識なのか。また、具体的な運営方針を見直す考えはあるのか伺う。</p>	
				4 第5次赤平市総合計画について	1 第5次赤平市総合計画は次期計画策定までの今年度限りという事になる。一方次期計画の基礎となる一面を持っていることや、当初予算で計上されているものもあることから所信表明で言及されていると思う。今年度行われる市民アンケートとの整合性はどうか考えるのか。	
				2 教育行政執行方針について	1 学校教育について	1 学力向上について、望ましい生活習慣が必要であることから、家庭における生活習慣の改善に向けた働きかけを継続するとある。今までの効果をどのように把握しているのか。それを基に今年度工夫されたところはどうか伺う。

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	3	木村 恵			2 いじめ防止について、大阪府吹田市の小学校でいじめの訴えを1年半放置していた問題で、学校側がアンケートを一部破棄していたことが明らかになった。赤平市ではアンケートをどのように取り扱っているのか伺う。	
				2 社会教育について	1 今年度の早期に国の登録有形文化財指定を目指すとする。年3回ある文化審議会で3月はすでに終わっていることから、11月ではなく7月の文化審議会のことを指していると思われる。登録有形文化財建造物の優遇措置及び文化庁からの指導等はどのように定められているか伺う。	
5	4	鈴木 明広	1 所信表明について	1 炭鉄港日本遺産認定について	<p>1 日本遺産認定による補助金の管理団体と当市への配分について伺う。</p> <p>2 補助金の使途について伺う。</p> <p>3 当市でイベント等を開催するに際し、市からの支出についての考えを伺う。</p> <p>4 日本遺産認定は当市の観光振興にどの程度寄与できるか伺う。</p> <p>5 当市は立坑櫓の「登録有形文化財」登録を進めているが、市民が理解しているという認識はあるか伺う。</p> <p>6 「登録有形文化財」登録は「重要文化財」指定への布石となると懸念するが、考えを伺う。</p>	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
5	4	鈴木 明広			7 炭鉱遺産活用問題に終止符を打つためには、中立的な立場の歴史的建造物の専門家を中心としたメンバーによる「再検討委員会」を設置して、客観的かつ現実的な方針を仰ぐべきと思うが見解を伺う。	
				2 観光について	1 当市の具体的な観光戦略を伺う。 2 AKABIRAベースはまちなか商店街に流入人口を促す目的で作られたが、その費用対効果についての認識を伺う。	
				3 地域公共交通について	1 JR根室本線維持について当市の取り組みについて伺う。	
			2 教育行政執行方針について	1 学力向上について 1 当市の学力向上については、学校での「個別学習」とあるが具体的な内容について伺う。 2 全国学力検査について本市の具体的目標について伺う。 3 教育委員会の「学力向上プラン」は平成28年度から31年まで、内容に変化が見られないが、発想の転換を図る時期だと思うが考えを伺う。 4 当市の子どもたちの学力増進には、思いきった考えのもと、公設塾拡充が必要であると感じるが認識を伺う。		
			2 小中一貫校について	1 本市の用いる小中一貫校についてのコンセプト（骨組み）について伺う。		

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
5	4	鈴木 明広		3 教員の働き方改革について	<p>1 教員の過酷な就業実態について伺う。</p> <p>2 道教委によると教員採用試験受験者は、この10年間で著しい減少傾向にある。教員の労働者としての待遇改善が喫緊の課題と思うが考えを伺う。</p>	